



も
く
じ

6	ものがたりを よもう	26
5	さく文を かこう	22
●	ことばで あそぼう 2	20
4	文を かざる ことば (2)	16
3	文を かざる ことば (1)	12
●	ことばで あそぼう 1	10
2	かん字と かたかな	6
1	文	2

1

文

1 つぎの □ に あう 字を □ から えらん で かきなさい。

(1) ぼく □
きのう 本 □
かった。

(2) そと □
ごみ □
すてに いく。

(3) □
いしい □
かし □
たべる。

(4) くうこう □
むか □
に いく。

(5) □
たし □
夕がた □
つかいに

え・お・は・へ・を・わ

2 つかいかたが 正しい ものに ○ を つけな さい。

(1) 本 □
を お □
よんで います。

(2) きょう □
わ は □
、 □
を と う と □
と あそびます。

(3) かき □
を お □
もって □
学 校 □
へ え □
いきます。

(4) は わ た し □
は た し □
を お □
たすけて ください。

(5) おねえさん □
おねえさん □
と □
こうえん □
こうえん □
で あそん

だ □
あと □
えき □
へき □
え □
へ □
いきます。



「な」が どうする「の」文

3

つぎの に あう ことばを から
えらんで かきなさい。

(1) ぶどうは

です。

(2) すずめは

です。

(3) にんじんは

です。

(4) たんぽぽは

です。

(5) じどう車は

です。

(6) こおろぎは

です。

のりもの・とり・はな
くだもの・むし・やさしい

4

つぎの に てん(、)か まる(。)を かき
なさい。

(1) にいさんは あせを ながして やきゆ

うの れんしゅうを して います

(2) ちかくの いけに 白い ボートが あり

ました おとうさんに たのんで のせて

もらいました

5

つぎの 文に かぎ(「」)を ふたくみ
つけなさい。

学校の もん の ところ で たけしくんに、

さようなら。

と あいさつを しました。

すると、たけしくんは、

また、あした。

と ぼくに いいました。



6

上の ことばと 下の ことばを —— で むすびなさい。

(1) 花が . . . ふつて います。

(2) さかなが . . . さいて います。

(3) でん車が . . . はしつて います。

(4) あめが . . . およいで います。

7

つぎの 文で「なにが(は) なんだ」を あらわすものには ○を、「なにが(は) なんだ」を あらわすものには △を、「なにが(は) どうする」を あらわすものには ×を つけなさい。

(1) () ひろしくんは 二年生です。

(2) () ぼくは、あるいて いきます。

(3) () きりんは くびが ながい。

(4) () 犬が しっぽを ふつて いる。

(5) () ぼくたちの 先生は やさしい。



8

ことばを いれかえて 「なには なんだ」という 文を つくりなさい。

(1) えがおが ぼくの かわいい いもうとは

(2) おもい にもつは この とても

(3) うでは ながい ふとくて おとうさんの

(4) きれいだった 夕日は きのうの 赤い

9 つぎの 文しやうを よんで 下の もんだいに こたえなさい。

本文

(1) そとには、なにが ふつていますか。

(2) —せん①の 「こぐまの くまくんは、おかあさんに いいました。」の文で、「だれは」にあたる ことばを ぬきだして かきなさい。

(3) —せん②の 「ぼく、なにか きるものがほしい」のは どうしてですか。

(4) かあさんぐまは、くまくんに なにを つくって やりましたか。



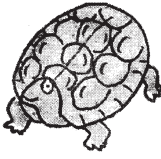

(5) くまくんは、どこへ でて いきましたか。

ことばの
ひろば

ことばで あそぼう

1

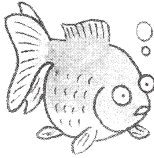
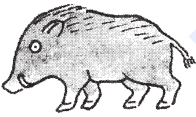

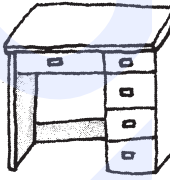
1 つぎの えの なまえに あう ことばを あと
から えらんで かきなさい。

(4)	(3)	(2)	(1)
			
ひ ま り	ぬ き	か	う

し わ
か あ
さ め
な た

2

2 つぎの えの なまえに あう ことばを あと
から えらんで かきなさい。

(4)	(3)	(2)	(1)
			
よ	の し	こ	く

ぎ え
ば よ
し ひ
ん ま
っ い
ぺ き

(5)	(4)	(3)	(2)	(1)

3 つぎの カードの うしろに かくれている どうぶつを なまえを かたかなで かきなさい。

(5)	(4)	(3)	(2)	(1)

4 つぎの くだものの なまえの もじが きえそ うです。なまえを ただしく かきなさい。

かいとう

《W小1こくご》

1 文

(2~5ページ)

1 (1)は、を (2)へ、を (3)お、お、を (4)へ、え

(5)わ、は、お

【かんがえかた】 ことばをつなぐかなか、それいがいのものをくべつします。なまえのことばにつく「は」「へ」「を」は、よみかたが、それぞれ「わ」「え」「お」となるのでちゅういしましょう。

2 (1)を (2)は、おとうと (3)を、へ (4)わたし、を

(5)おねえさん、こうえん、えき、へ

【かんがえかた】 (2)(5)「おとうと」は「おとおと」、「おねえさん」は「おねいさん」というかきまちがいにもちゅういしましょう。

3 (1)くだもの (2)とり (3)やさい (4)はな (5)のりもの

(6)むし

【かんがえかた】 「なには なんだ」の「なんだ」にあたることばをえらんでこたえます。

4 (1)にいさんは あせを ながして ……います

(2)ちかくの いけに ……ありました おとうさんに たのんで のせて もらいました

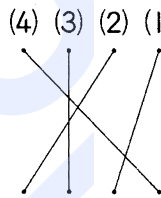
【かんがえかた】 「だれは」とか「なにが」など、文の大きなきれめには、てん(・)をつけ、文のおわりには、まる(。)をつ

けます。

5 「さようなら。」「また、あした。」

【かんがえかた】 「さようなら。」は、ぼくが、たけしくんにいったことば。「また、あした。」は、たけしくんが、ぼくにいったことば。

6 (1)



【かんがえかた】 「なにが どうする」の文です。

7 (1)○ (2)× (3)△ (4)× (5)△

【かんがえかた】 「なにが(は) なんだ」の文とは、ようすをあらわしている文です。「ながい」「やさしい」といった、ようすをあらわしていることばにちゅういします。また、「なにが(は) どうする」の文とは、うごきをあらわしている文です。「あるいて いきます」「しっぽを ふって」といったうごきをあらわしたことばにちゅういします。

8 (1)ぼくのいもうとはえがおがかわいい。 (2)このにもつは とてもおもい。 (3)おとうさんのうではふとくてながい。

(4)きのうの赤い夕日はきれいだった。

【かんがえかた】 「どんなだ」にあたることばは、それぞれ、(1)は、「かわいい」、(2)は、「おもい」、(3)は、「ふとくてながい」、(4)は、「きれいだった」です。